

第3回 金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和2年3月26日(木) 9時00分～13時00分
開催場所	金沢区役所6階1号会議室
出席者	選定委員：青木委員、赤木委員、魚谷委員、新明委員、山岸委員、山口委員、山中委員 事務局：千田福祉保健センター担当部長、高橋福祉保健課長、大島高齢・障害支援課長、白井高齢者支援担当係長、大森介護保険担当係長、柴田事業企画担当係長、長田事業企画担当職員、北村事業企画担当職員
欠席者	有本委員、出丸地域包括ケア推進担当係長
開催形態	公開(傍聴者なし) ※面接審査以外の事項については、非公開。
次 第	開会 事務局説明 議事 1 審査方法について 2 財務状況について 3 面接審査 4 指定候補者の決定 5 その他 閉会
議事内容	開会 事務局より連絡事項 ・委員8名のうち7名出席につき、金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項により、委員会が成立していることを報告。 ・今回の委員会の議事録署名人は、山岸委員と山口委員長に依頼し、了承された。 ・傍聴人の申し込みはなかったことを報告。 議事 1 審査方法について 第1回選定委員会で確認した内容を再確認した。 ・採点方法 ・審査手順

2 財務状況について

事務局より報告。

報告内容について、赤木委員から補足。

委員：財務状況の審査について、異議なし。

3 面接審査

(1)釜利谷地域ケアプラザ

社会福祉法人すみなす会（当日は法人名を伏せて自己紹介）よりプレゼンテーションが行われた。

【質疑応答】

委員：職員の健康管理について、詳しく教えてください。

応募者：最近、感染症の流行を受けて、職員自身とその家族、利用者の方々に健康チェック表を記入してもらっています。

職員は、年に1回健康診断を受けており、さらにインフルエンザのワクチン接種の費用を法人で負担して、予防接種を受けてもらうようにしています。

委員：利用者の緊急時の対応方法について、もう少し詳しく教えてください。

応募者：事故対応マニュアルを定めており、利用者が倒れた場合などに、誰が何をすべきかをあらかじめ決め、誰が居合わせたとしても、対応ができるようにしています。

また、看護師もおり、併設施設もあるので、協力して対応することとしています。

委員：多数の事業を行っていると思いますが、職員の配置についてはいかがでしょうか。

応募者：欠員が生じないよう配置をしています。また、非常勤職員も雇用し、本来行うべき業務ができるよう配置しています。

	<p>委員：プレゼンテーションの中で、外国人向けの自主事業が紹介されましたが、実際にどのような支援を行っているのでしょうか。</p> <p>応募者：周知については、日本語の横に英文を入れたチラシを作成しています。また、参加される方々には、英語で作成した避難経路の説明資料をお見せし、緊急時にも対応できるようにしています。</p> <p>さらに、英語が得意でなくても、コミュニケーションがとれるよう、あらかじめ予測される会話を覚えるようにしています。</p> <p>委員：苦情対応について、第三者委員を介して話ができる仕組みは非常に良いと思います。実際に第三者委員が入って、対応したことはあるのでしょうか。</p> <p>応募者：法人が管理している別の施設では、実際に第三者委員が調査を行い、解決に至った事案があります。</p> <p>委員：障害者によるボランティアについて、ポイント制で景品と交換できる制度についてご紹介がありましたが、非常に良い取り組みだと思います。もう少し詳しく教えてくださいませんか。</p> <p>応募者：平成 16 年ごろから障害者向けの教室を開いているのですが、1人1人が非常に優れた能力を持っていても、活かしていなかったと感じていました。</p> <p>また、地域の方の、障害者への見かたを変えてほしいとも考えていたので、一般に行われているボランティア活動を障害者にも行っていただくこととしました。ボランティア活動に対してポイント制を導入し、自身の能力を活かす機会や、働く意欲の向上を図っています。</p> <p>実際には、ボランティア活動ができるか否かを判断してからの参加になりますが、参加された方には自信をもって帰っていただけるように意識しています。</p>
--	--

委員：日頃の活動の中で、様々な情報を収集していると思いますが、情報収集する場合の視点や収集方法、共有する情報の線引き等がありますでしょうか。

応募者：実際に事業に入って、事業を通して聞いたり、参加者との会話の中の小さな声も聴くようにしています。
声を聞いた時には、どんなに小さな声でも職員間で共有するようにしています。

委員：本人が気づいていないような、潜在的なニーズを聞き出す方法などがありますか。

応募者：地域包括支援センターでは、専門的な知識を用いて、相談者が訴えている内容に限らず、困っていることへの解決策を考えています。
また、各コーディネーターは、自分の地域の生活者として話を行うことで、施設にとどまらない視点でニーズを把握できると考えており、そこがケアプラザの強みだと思うので、その視点を意識するようにしています。

<各委員による採点>

(2)富岡地域ケアプラザ

社会福祉法人同塵会（当日は法人名を伏せて自己紹介）よりプレゼンテーションが行われた。

【質疑応答】

委員：職員の人員配置について、もう少し詳しく教えてくださいませんか。

応募者：職員には、まず何よりも長く仕事を続けてほしいと考えており、それぞれの適正を考慮した異動を行っています。しかし、働いていると何らかの不満が生じてしまいますので、仕事を続けていくうえで、うまく付き合っていくことを一緒に考えるようにしています。

	<p>委員：利用者の方の衛生管理や健康管理、緊急時の対応方法についてはいかがでしょうか。</p> <p>応募者：緊急時の対応については、福祉避難所になっているため、事前に物品等の準備ができています。また、利用者には必ず避難経路をお伝えするようにしています。</p> <p>また、福祉避難所に関して、これまでは震災を想定して対応を検討していましたが、風水害も想定した対応を検討しています。</p> <p>職員の誰がケアプラザにいても、福祉避難所として機能することを主眼として体制を検討しており、たとえば、どこに何があるかの確認を全職員で行っています。また、ゾーニングをして、利用者と職員をどのように分けるかを考えています。</p> <p>委員：福祉避難所の開設にあたり、障害者を受け入れるため、日常から取り組んでいることはありますか。</p> <p>応募者：施設内に段差がないため、物の置き方などを日常的に心がけています。また、障害に関係なく避難された方々が、施設内に留まれるかどうかを念頭に置き、ゾーニングする方法などを考えています。</p> <p>委員：OJT はどのように取り入れているのでしょうか。</p> <p>応募者：デイサービスの専門職はデイサービスに入り、事務職員は事務所に入り、先輩から後輩へ技術を伝えてもらうようにしています。</p> <p>事務職員は事務だけでなく、地域との顔つなぎも重要になってくるので、すでにつながりのある先輩と共に地域に赴き、顔つなぎを行っています。</p> <p>委員：研修に加えて、日常的に学ぶことが必要かと思いますが、実際にそのような事例はありますか。</p>
--	--

	<p>応募者：いろいろな研修があるため、時間を割いてなるべく参加するようにしています。研修に参加する場合は、勤務扱いとしています。</p> <p>委員：ボランティアの育成について、もう少し詳しく教えていただけますか。</p> <p>応募者：ボランティアについては、ケアプラザで講座を開催しても、実際に手を挙げてくれる人は少ないのが現状です。ケアプラザとしては、講座や行事でつながっている人に、個別にお声がけをしています。特に、子育て世代の若い人たちには、もっと住んでいる地域に出てもらいたいと考えており、お声がけをしているところです。具体的には、0歳児向けの講座から始まり、その後も年齢別の講座を継続して開催することで、お母さんたちのつながりを作りたいと考えています。</p> <p>併せて、参加者向けにアンケートを実施しており、意見の中には、時間や内容によっては参加してみたいという回答もあるので、それぞれのニーズに合わせてボランティア活動を紹介しています。</p> <p>委員：富岡地域ケアプラザの特徴を教えてください。</p> <p>応募者：1番大きな特徴としては、地域との距離が近いことだと感じています。一朝一夕でできるものでないため、これまで続けてきた成果だと思っており、大きな財産です。</p> <p>委員：法人内で、勉強会や交流会などの、経験の継承などは行われていますか。</p> <p>応募者：ケアプラザ間での研修会や講習会を行っています。また、特養も含めた研修会も行ったり、専門職の研修会も行っています。</p> <p>委員：職員の人事異動について、もう少し詳しく教えてください。</p>
--	---

ますか。

応募者：実際に他のケアプラザで、致し方なく介護離職する職員がおり、現在管理しているケアプラザから異動することになった職員がいます。

このように、いつでも必要な人材を把握し、適所に配置できるように努めています。

幸い、現在管理しているケアプラザでは、職員の欠員は生じることなく配置することができています。

<各委員による採点>

(3)西金沢地域ケアプラザ

社会福祉法人昴（当日は法人名を伏せて自己紹介）よりプレゼンテーションが行われた。

【質疑応答】

委員：職員の方の健康管理について、もう少し詳しく教えていただけますか。

応募者：職員の健康管理については、年に2回、健康診断を行っています。併せて、ストレスチェックを行って管理しており、必要に応じて産業医に診てもらいながら対応しています。

委員：先ほどご紹介があった EPA による外国人の受入に関して、もう少し詳しく教えていただけますか。

応募者：EPA による外国人の職員については、法人全体で 15 名受け入れており、先日も新たに 2 名合格を出しています。ベトナムやフィリピン、インドネシアの方々を雇用しています。技能実習でも、中国とベトナムから各 2 名受け入れる予定です。

委員：EPA は定着しづらいと言われていますが、実際はいかがでしょうか。

	<p>応募者：幸い、親戚や家族の事情による理由以外は、続けて働いている職員が多いです。</p> <p>委員：それぞれの国の優秀な方がいらっしゃっていると思いますが、日本人と対応を変えていたりするのでしょうか。</p> <p>応募者：特に変えていません。日本語の勉強が必要な方には、決まった時間に学校に通ってもらっています。また、6か月の研修期間がありますが、仕事の内容は特に変えておらず、技術を習得しながら段階的に研修期間を終えられるようにしています。</p> <p>委員：ご紹介のあった「みんなの畑」がとても良い取り組みで、世代を超えて会話ができ、知り合いになれるきっかけになると思います。 現在の状況と将来の展望について、教えていただけますか。</p> <p>応募者：地域の中に空き地があり、その場所を貸してもらえよう手続き等の準備を進めています。また、使っても良いと言われている別の場所もあるので、まずはその場所で進めようと考えています。</p> <p>委員：研修について、外部研修やOJT等はどうに行っているのか教えていただけますか。</p> <p>応募者：法人内で「おもいやりマニュアル」の作成や「おもいやり研修」を実施しており、職員間の支え合いや法人の理念を伝える場を必ず作っています。 その他、法人全体の研修や各施設で毎月テーマを決めて研修を行っています。 資格支援制度も設けており、職員のスキルアップを図っています。</p> <p>委員：ボランティアの確保はどうに行っているのか、教えていただけますか。</p>
--	---

応募者：館内の掲示板や広報誌で募集を行っています。また、事業を行った後に、事業の立ち上げ等に参加していただけないか、個別に声かけを行ったりしています。併せて、ボランティア向けの研修も行っていきます。

委員：一般的に、十分なボランティアを確保することは難しいと思いますが、いかがでしょうか。

応募者：地域柄、ボランティアにご参加いただける方が多いと感じています。個人では 100 人を超える方々にご協力くださっています。

<各委員による採点>

(4)泥亀地域ケアプラザ

社会福祉法人横浜市福祉サービス協会（当日は法人名を伏せて自己紹介）よりプレゼンテーションが行われた。

【質疑応答】

委員：利用者の方の体調が急変した時の対応について、具体的に教えていただけますか。また、マニュアルは整備されているのでしょうか。

応募者：ケアプラザは休みが年末年始しかなく、夜も 21 時まで開館しているため、職員の配置には苦慮しているところですが、いつでも対応できるよう体制を組んでいます。

また、事業は必ず複数人で対応しており、何かあった場合には、事務所内の職員も連携して対応することとしています。

マニュアルについては、災害対応に関するマニュアルや事業継続計画を作成しています。併せて、日頃から職員間の情報交換も行うようにしています。

さらに法人本部でも、階層別の研修や、課題別の研修を行っており、その中で緊急時の対応や連携方法について、学んでいます。

	<p>委員：ケアプラザ 20 館を管理しているとのことですが、市内最大なのでしょうか。</p> <p>応募者：おそらく市内で 1 番多いかと思います。</p> <p>委員：法人内に研修センターがあるとご紹介がありましたが、詳しく教えていただけますか。</p> <p>応募者：職種別の研修や資格取得支援の研修、課題別の研修などを行っています。 新採用職員向けの研修では、知識をつけるだけでなく、チームで仕事を進めることを意識して、横の繋がりを作ることを重視しています。併せて、職員の離職防止にも繋げていけたらと考えています。</p> <p>委員：日常的な OJT を重視していますが、OJT や外部研修の考え方について教えていただけますか。</p> <p>応募者：個別の研修も実施しており、実際に配属されてからは職員の様子を見ながら、必要なものは何かを意識して教えるようにしています。</p> <p>委員：具体的に、教育するのは先輩になるのでしょうか。</p> <p>応募者：色々なパターンがありますが、基本的には新人の気持ちが分かる、少し上の先輩が教育することが多いです。 また、法人全体での異動もあるので、ケアプラザだけでなく老人ホームなども視野に入れながら配置を考慮しています。</p> <p>委員：研修センターがあるので、外部研修を受ける機会が比較少ないということはあるのでしょうか。</p> <p>応募者：内部と外部の研修の両方行うことにしています。外部の研修は、必要だと考えるテーマであれば、業務として受けることとすることもあります。法人内でも、必要な能力を身</p>
--	---

につけるため、計画的に研修を受けるように案内しています。

委員：職員の自主的な勉強会などがありますか。

応募者：自主的に行っているのですが、すべてを把握してはおりませんが、自分1人での解決が難しい介護技術などの場合には、もっと学びたいと考えている人たちが集まって勉強会をしています。

研修センターにも、ベッドや車いすを準備していて、職員が講師になって、介助技術の講習を毎年行っています。

委員：障害についての講座や、理解促進のための研修などは行っていますか。

応募者：障害のあるお子さんを持つ親向けに、親が亡くなった後のことに関する講座を企画したりしています。

障害は幅が広い分野であると考えています。8050 問題では、発達障害に関わる部分がありますが、問題が見過ごされてきていた状況が続き、最近になって顕在化してきていると思うので、今後は外部の研修などに出て、相談があった時に対応ができるようにしていこうと考えています。

委員：法人の理念が現在の運営にどう活かされているでしょうか。また、運動体から法人へ大きく発展したのは、何が要因と考えていらっしゃいますか。

応募者：当法人の成り立ちは、設立時の主婦6人が、家族だけでの介護が難しいと考え、ヘルパーの派遣などの事業を行うために生まれた団体ですが、それを社会全体で考えなければならぬという時代の流れがあったからかと思いません。

また、成り立ちは訪問介護ですが、現在ではケアプラザや老人ホームなどの、幅広い介護サービスをやっているところが法人の強みであり、それぞれの役割を理解しながら、サービスを行っているところが特徴かと考えています。

委員：法人の最大の課題を教えてください。

応募者：人材の確保が最大の課題と考えています。福祉業界で働こうと思う若い人が少なく、法人の職員も高齢化しており、60代や70代のヘルパーさんもいらっしゃいます。この状況を鑑みると、どこまでやっていけるのか不安に思いますが、人材の育成と若い人が福祉業界に入ってもらうことが必要だと考えています。

そのためには、子どもの時から福祉のことを伝えていかなければならないと考えています。

委員：EPAなどで外国人の雇用などは行っていますか。

応募者：老人ホームでは採用例がありますが、現在の仕組みで、日本で長く働いてくれる人材は、なかなかいないのが実情です。

<各委員による採点>

4 指定候補者の決定

事務局より、すべてのケアプラザが最低基準点を上回っていることを報告し、さらにこれまで伏せていた法人名を発表した。

委員会からの推薦に際して、各地域ケアプラザの候補法人に対しては以下の意見が付与された。

【全応募法人に対して】

- ・小学校や中学校での福祉教育に、ケアプラザが入っていくことが進んでほしい。
- ・地域によっては、福祉を身近に感じられないところもあるので、学校の先生だけではなく、地域福祉に詳しいケアプラザ職員が福祉教育を行うことで、伝えられることも多いと思う。
- ・学校と日常的に交流ができるような関係が作れたら、ケアプラザもさらに飛躍できると思うので、今後に期待したい。

【社会福祉法人すみなす会（釜利谷ケアプラザ）に対して】

- ・担当地区は、昔から住んでいる方が多い地区で、高齢化とともに、新たな住民の流入もあるため、まとめるのが難しい地域だと思うが、これまで通り、地域の方と一緒に事業を進めていってほしい。
- ・工夫された特徴ある活動が多かった。それだけ地域の方のニーズを把握できているのだと思った。

【社会福祉法人同塵会（富岡地域ケアプラザ）に対して】

- ・自主活動に非常に力を入れているのだと感じた。
- ・隣に小学校があることもあり、子どもたちとの活動や福祉教育の取り組みが進んでいるため、今後の発展に期待したい。

【社会福祉法人昴（西金沢地域ケアプラザ）に対して】

- ・「みんなの畑」の取り組みが印象的だった。多くの地域の方を取り込んで、広がりを見せていくことに期待したい。
- ・単なる事業を行うだけでなく、別の活動などに繋げたりしていることが良くできていると思った。
- ・移動販売も広まってほしい。

【社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

（泥亀地域ケアプラザ）に対して】

- ・やらなければならないことを、しっかり行っているという安心感があった。何事にも意識が高いと感じた。
- ・自分たちのもっている資源をうまく活用していると感じた。多彩な視点が特徴的で、ケアプラザとして他分野にうまく繋がっていると感じた。

5 その他

事務局より今後のスケジュールについて説明した。

【資料 1】

横浜市金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会名簿

【資料 2-1】

評価基準及び審査方法について

【資料 2-2】

前期の指定管理者業務の実績項目の評価方法について

【資料 3】

	財務状況評価報告書
--	-----------